

愛知登文会ニュース

第3号

平成24年8月10日号

平成24年度総会開催

平成24年5月23日（水）、愛知県立大学サテライトキャンパス（愛知県産業労働センター15階）において、愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会平成24年度総会を開催いたしました。また、総会閉会後には記念講演会を開催し、愛知工業大学工学部建築学科教授の杉野丞先生より「建築文化にみる遺伝子 — 3賢人の夢見た空間 —」についてご講演いただきました。以下にご報告いたします。

総会報告

午後2時～2時40分

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 議長指名
- 5 議題
 - 第1号議案 役員の一部変更について
 - 第2号議案 平成23年度事業報告
 - 第3号議案 平成23年度決算報告及び会計監査報告
 - 第4号議案 平成24年度事業計画について
 - 第5号議案 平成24年度予算について
- 6 閉会の辞



平成24年度総会は、来賓に愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室室長補佐の川井啓介様の臨席を賜り、佐地秀明副会長の開会の辞で始まりました。正会員総数45名のうち38名出席（うち委任状21名）のもと開会し、第1号議案「役員の一部変更について」から第5号議案「平成24年度予算について」まで審議した結果、いずれも原案通り、全員一致で異議なく承認されました。

役員新任体制

※印は今年度新任した役員。（ ）内は所属・所有文化財名称等。

理事長(会長)	長谷川良夫（大山城下町を守る会会長）	理事	渡邊真（浄照寺本堂ほか）
副会長	佐地秀明（名古屋陶磁器会館）	事務局長	松井三希子（名古屋陶磁器会館）
理事	天野啓介（大野宿鳳来館ほか）	監事	牧謙治（愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室）
〃	石川新太郎（明治村・第八高等学校正門ほか）	〃	久野恭裕（CRAFTS総合会計事務所）
〃	岡田妃代（大野宿鳳来館ほか）	相談役	瀬口哲夫（愛知県文化財保護審議会委員）
〃	小栗宏次（小栗家住宅主屋ほか）	〃	杉野丞（愛知県文化財保護審議会委員）
〃	柴田正康※（柴田家住宅主屋）	〃	小川芳範（愛知県立犬山高等学校教頭）
〃	清水勝之※（岡崎信用金庫資料館）	〃	井澤知旦※（名古屋学院大学経済学部教授）

記念講演会

午後3時～4時



講師：愛知工業大学工学部建築学科教授 杉野丞氏
題目：建築文化にみる遺伝子 — 3賢人の夢見た空間 —

テーマにある3賢人とは、ギフチョウを発見し、後に名和昆虫博物館をつくった生物学者の名和靖、名和から生物画を学び、金華山麓に名和昆虫研究所記念館・同博物館を建設した建築家武田五一、岐阜に生まれ函館に移り海運業で莫大な富を築き「函館の明星」と呼ばれた企業家日下部久太郎であり、日下部氏は函館・神戸・岐阜に邸宅を残しています。彼らは明治・大正期に岐阜の地から世界を見つめ、新たな時代を切り開く知恵と視野をもっていました。彼らが残した建築は、その当時の歴史や繁栄を現代の私達に伝えてくれています。杉野先生には貴重なお話をいただきました。ありがとうございました。

会長あいさつ

会長 長谷川良夫

この度は、多くの会員の皆様が本総会に出席くださいましたことに対し、改めて御礼申し上げます。

昨年度は文化庁補助事業が採択され、この事業と連携したことで大変盛り沢山の内容となりました。今年度も引き続き文化庁補助事業と連携し、更なる充実を図りながら取り組んで参る所存です。

本年度も、何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 今年度の予定

愛知登文会では、平成24年度も昨年度に引き続き、文化庁の補助事業「平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」との連携により活動を実施します。

今年度の事業内容は、下記の通りです。3つのプロジェクト7つの事業に取り組みます。

平成24年度の事業内容（予定）

文化財所有者プロジェクト

- ・文化財建造物の所有者がその所有建造物の社会的価値を認識して、保存・活用に向けた意識改革や取組みを促進していく事業

①文化財建造物保存・活用講座

第1回	登録文化財建造物の保存・活用について考える	7月17日開催
第2回	県内現地視察（建中寺 徳興殿）	9月17日開催予定
第3回	県内現地視察	10月（予定）
第4回	県内現地視察	11月（予定）
第5回	市民団体の取組み&自治体の支援策	12月（予定）
第6回	県外現地視察（北陸方面）	1月（予定）
第7回	県外招聘ミニシンポジウム	2月（予定）

②「愛知登文会」情報発信

「愛知登文会ニュース」の発行	今年度中に3回発行予定
ホームページの更新・情報発信	

文化財こどもプロジェクト

- ・こどものころから文化財に係わり、馴染んで、その存在を誇りに思い、将来の文化財に対する理解者を増やしていく事業

①こども文化財体験事業

第1回	名古屋陶磁器会館（名古屋市）ー建物探訪+卓育セミナー
第2回	小栗家住宅（尾張）
第3回	実相寺（西三河）
第4回	開催場所未定（東三河）



②こども文化財ガイド事業（新規事業）

文化財の魅力体験・学習し、予行演習を経て実際にガイドを行う。名古屋テレビ塔にて実施する。

第1回	テレビ塔の魅力体験しよう！	9月23日（予定）
第2回	テレビ塔について学ぼう！	10月28日（予定）
第3回	ガイドの練習をしよう！	11月18日（予定）
第4回	さあ本番、テレビ塔の魅力を伝えよう！	11月23日（予定）

観光ボランティアガイド連携プロジェクト

- ・地域で活動する観光ボランティアガイドに、文化財建造物に関する教材提供と学習機会（現場視察を含む）を提供することで、来訪者に対して地域文化の紹介を行う人材（ガイド）を育成する事業

①ガイド教材の作成

「愛知県の登録有形文化財建造物 観光ボランティアガイドブック vol.2」を作成する。
（文化財建造物20カ所を取り上げる予定）

②観光ボランティアガイド育成事業

第1回	柴田家住宅（清須市）ー清須市ガイドボランティアの会	5月16日開催
第2回	名古屋市内で開催の予定	
第3回	尾張地域で開催の予定	
第4回	西三河地域で開催の予定	

③観光回遊事業（新規事業）

スマートフォンを活用した登録有形文化財を回遊するコースの設定と周遊促進のための仕掛けを検討する。

2 今年度の事業報告

観光ボランティアガイド育成事業「第1回 柴田家住宅」

観光ボランティアガイドの方を対象として、登録有形文化財の魅力を知っていただくための見学講習「観光ボランティアガイド育成事業」を昨年度に引き続き今年度も県内4カ所で開催します。5月16日（水）に今年度の第1回目を柴田家住宅にて実施しました。

柴田家住宅は、下小田井市で栄えた美濃路に南面した、築116年の町家です。「近世から近代にかけての過渡的な建築の典型例」として、平成18年（2006）に国の登録有形文化財建造物に登録されました。

見学講習では、所有者の柴田氏より、登録有形文化財とされた時の思いや登録前に実施された改修工事について、また建物の構造など建築の視点も含めて解説をいただき、その後の内部見学ではガイドボランティアの皆さんも細部まで熱心に見入っておられました。

開催時間	内 容	場 所	参加者
13:30～ 15:30	開催趣旨、本日の予定等 所有者によるお話と案内（柴田家当主：柴田正康氏） 質疑応答	柴田家住宅 主屋	清須市ガイドボ ランティア 18名



所有者による建物等についての解説



清須市ガイドボランティアの皆さん



所有者による建物の案内

文化財建造物保存・活用講座「第1回：文化財建造物の保存・活用について考える」

文化財建造物の保存・活用にあたっての課題を乗り越えるための、専門的あるいは事例的情報を提供することを目的に開催する「文化財建造物保存・活用講座」の第1回目を7月17日（火）に開催しました。

第1回目の講座テーマは「文化財建造物の保存・活用について考える」とし、初めに、愛知県教育委員会文化財保護室の牧謙治氏より、新規登録有形文化財の紹介や県内の文化財建造物の状況、全国と比較したときの県内の文化財建造物の特徴などをお話いただきました。次いで、県外からお招きした田中彰氏より、長年取り組まれてこられた飛騨高山での取り組みについて、お話いただきました。

開催時間	テーマと講演者	参加者
13:30	主催者挨拶	46名 (講師・事務局含む)
13:40～	愛知の文化財建造物の現状 ～新規登録有形文化財の紹介を含めて～ 講師：牧 謙治氏（愛知県教育委員会文化財保護室 主任主査）	
14:20～	町家再生はなぜ必要か～飛騨高山での取り組みを通じて～ 講師：田中 彰氏（高山市教育委員会 市史編纂員）	
16:00	閉会	



初めに、愛知県の牧謙治氏による解説



田中彰氏による飛騨高山での取組の解説



会場の様子

3 情報コーナー

1 新規登録物件について

平成24年4月20日(金)に開催された文化庁文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、愛知県内にある以下の18件の建造物が新たに国の登録有形文化財として答申されました。

名称	所在地	特徴等
神谷家住宅柏露軒	名古屋市	中庭の周囲に各棟を配置する。柏露軒は大小の茶室を組合わせた建物で、扇面散らしの板欄間を飾るなど洗練された内部意匠をもつ。敷地内には、名古屋城の古材を再使用したと伝える三畳茶室の孤蓐や、腰掛待合、中潜門などが配されており、いずれも創意のみられる数寄屋のつくりになり、市中にあって風情のある露地空間を創出している。
神谷家住宅孤蓐		
神谷家住宅腰掛待合		
神谷家住宅中潜門		
日本福音ルーテル復活教会	名古屋市	ヴォーリス建築事務所の設計で、大きな切妻屋根と側面の尖塔が印象的な教会堂。
徳授寺本堂	犬山市	犬山城下南方に所在する臨済宗妙心寺派の寺院。境内奥に構える本堂は、方丈型六間取形式で正面を広縁とし、柱を省略するなど開放的な外陣空間をつくる。背面に接続する位牌堂は、後寄りを開山堂とする。本堂東脇に構える唐破風玄関は要所を精緻な彫刻で引き締める。境内入口に開く山門は大型の薬師門で、細部意匠や軒廻りなどに古式が認められる。
徳授寺位牌堂		
徳授寺玄関		
徳授寺鐘楼		
徳授寺山門		
圓明寺本堂	犬山市	犬山城下に所在する浄土真宗大谷派の寺院。境内奥に本堂を南面して構え、南西側に僧寮を介して、庫裏が東面して建つ。本堂は、外陣を桁行全長にわたる広い一室とし、後方を内陣及び余間とする平面で、細部意匠に古式をとどめている。庫裏は城下から大型町家を移したもので正面構えなどに名残をとどめる。このほか庫裏と向き合って鐘楼が建ち、境内入口の山門とともに境内景観を整える。特に山門は名工伊藤平左衛門の作で、古刹の正門に相応しい良質なつくりの門である。
圓明寺僧寮		
圓明寺庫裏		
圓明寺鐘楼		
圓明寺山門		
祥雲寺本堂	犬山市	境内奥に南面して建つ本堂は方丈型六間取形式で、内陣に須弥壇をおき、小組格天井を張る。境内中央に西面する弘法堂は南北に仏壇付きの3室を並べる独特のつくりで、本堂とともに、犬山藩大工の系譜にあたる市橋家と広瀬家の大工が普請にあたった。
祥雲寺弘法堂		
祥雲寺鐘楼		

※文化庁公表資料より抜粋

2 第2回文化財建造物の保存・活用講座のご案内

県内現地視察「建中寺 徳興殿」

参加費無料

- 募集人員：30名(希望者多数の場合は愛知登文会会員を優先して抽選
他に愛知商業高等学校の学生(最大20名)も参加予定)
- と き：平成24年9月17日(月・祝) 14時～16時30分
- と ころ：名古屋市東区筒井一丁目7-57 建中寺 本堂前
- アクセス：市バス東区役所停留所東へ5分 / 地下鉄車道駅より北西へ10分
- 申込方法：愛知登文会事務局(財)名古屋陶磁器会館)へFAXにて申込み
- プログラム



登録有形文化財「徳興殿」

開催時間	内 容
14:00～	開講、建中寺についての概略説明 講師：河田克博氏(名古屋工業大学大学院教授)
14:30～	本堂、経蔵(平成16年度修理完成)、御霊屋(修復工事中)の見学 ー3グループに分かれて 案内人：建中寺住職村上真瑞氏、建中寺岡本秀廣氏、河田克博氏
15:40～	徳興殿の見学、質疑応答

*詳細については、愛知登文会ホームページ(<http://www.aichi-tobunkai.org>)でチラシがご覧いただけます。

★愛知登文会のホームページ随時更新中!

これまでの活動や最新のお知らせ等を掲載しています。

HPアドレス <http://www.aichi-tobunkai.org>

★愛知登文会ニュースに掲載する、登録有形文化財で開催されるイベントなどの情報募集中!

問合先：愛知登文会事務局へご連絡下さい(下記)

編集後記

昨年6月に愛知登文会が設立され、約1年が経過しました。設立当初86名(正会員・特別会員・賛助会員の合計)であった会員数も100名と少しずつ増えてきました。また、今年度は新たに登録物件が18件増えました。昨年度に引き続き、今年度も文化庁の補助事業が採択され、昨年度よりもより活発に、また、より内容の濃い活動が展開できるよう取り組んでいく所存です。この愛知登文会ニュースも今年度はあと2回発行の予定です。今年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

愛知登文会ニュース 第3号

発行日：平成24年8月10日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会
〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目10番3号
(財)名古屋陶磁器会館内

TEL 052-935-7841 FAX 052-935-9592

E-mail pottery@nagoya-toujikikaikan.org

URL <http://www.aichi-tobunkai.org>